

奉仕を通じて平和を

2012～2013年度 RI 会長

田中作次

RI 第 2730 地区ガバナー

山下皓三

鹿児島市内分区ガバナー補佐

松田 泉



ついて考え始めますが、その多くはどこから始めるべきか分からないものです。米国ミシガン州のセント・ジョセフ・ベントン・ハーバー・ロータリー・クラブは、生徒たちのために職業研修プログラムを実施して、関心のある職業について学ぶ機会を提供しています。中には、ロータリアンが地元事業の職場見学を設けたり、また一対一で経験談やアドバイスなども紹介しています。

ベルリンで開催されるロータリー世界平和フォーラム

2012-13 年度に 3 回開催されるロータリー世界平和フォーラムの 1 回目が、11 月 30 日から 12 月 2 日にベルリンで開催されます。

「国境のない平和」をテーマとするこのフォーラムでは、著名人による講演を聞いたり、ワークショップや円卓討論に参加することができます。また、平和を推進するロータリーの国際共同委員会 (ICC) の役割について学んだり、クラブや地区のプロジェクトについて知ることも出来ます。通訳は、英語、フランス語、ドイツ語で提供される予定です。

識字率向上プロジェクトで表彰を受けたロータリアン

先月、米国のワシントン D.C. にて、ロックフォード・ロータリー・クラブ (ミシガン州) とセーラム・ロータリー・クラブ (オレゴン州) が「国際ロータリー/国際識字協会/ピアソン財団識字プロジェクト賞」を受賞しました。これは、各地の読書関係団体との卓越した協力を称えるものです。各クラブのプロジェクトには 2,500 ドルが授与され、恵まれない子供たちへの図書提供に活用されます。

ロータリー奉仕の可能性を広げるパッケージ・グラント

現在、未来の夢試験地区のロータリアンは、パッケージ・グラントを利用して、ロータリーの戦略パートナーとともに奉仕活動を行っています。

パッケージ・グラントは、ロータリー財団の国際財団活動資金 (WF) と戦略パートナーから資金が提供されるもので、あらかじめ立案されたプロジェクトや活動においてより大きな成果をもたらせるよう、奉仕活動に集中することが可能となります。2013 年 1 月からは、参加資格の認定を受けた上で、すべてのクラブまたは地区が 2013-14 年度パッケージ・グラントへの参加を計画することができます。戦略パートナーと協力した例を一部以下にご紹介致します。

○オイコクレジットとのパッケージ・グラントでは、フィリピンで職業研修を提供し、女性の起業家にビジネス・スキルを教えたり、小口融資を行いました。

○アガ・カーン大学とのパッケージ・グラントでは、ナイジェリアからの職業研修チームを支援し、大学キャンパスでの研修に加え、保健クリニックを訪問する機会も提供されました。

\*\*\*\*\*

<理事会報告 2012.10.30>

●地区大会における、分担金¥5,000-と会員登録費 ¥9,000-は後期の会費に上乗せして集金する事、又、今回は鹿児島での地区大会ですので、全員参加をお願い致します。

●12月プログラム

- 11月 13日 (火) 地区大会報告
- 11月 21日 (水) 志學館大学模擬面接会  
→20日 (火) より例会変更
- 11月 27日 (火) フリートーク・理事会
- 12月 4日 (火) クラブ総会
- 12月 11日 (火) 会長・幹事半期を終えて
- 12月 18日 (火) クリスマス家族例会 18:30~  
会場：プラザN (武 1-4-2(中央駅西口側))
- 12月 25日 (火) クラブ定款により休会

\*\*\*\*\*



11/13(火) 地区大会報告	11/21(水) 志學館大学模擬面接会 志學館大学にて 11/20(火)より変更	11/27(火) フリートーク 理事会	
月/日	クラブ	例会会場	プログラム(△変更)
11/7 (水)	鹿児島南	サンロイヤル	会員卓話 浜平忠宏会員
	鹿児島西	山形屋	クラブ協議会(地区大会準備)
	鹿児島西南	ゆうづき	フリートーキング
11/8 (木)	鹿児島東	山形屋	未定
	鹿児島北	鹿児島東急ホテル	クラブフォーラム (ロータリー財団)
	鹿児島サザン	鹿児島東急イン	竹越兼壽RI会長代理 卓話
11/9 (金)	鹿児島	山形屋	定例夜間例会 18:30~ 米山奨学生卓話 表冠霖さん
11/12 (月)	鹿児島中央	山形屋	地区大会報告
11/13 (火)	鹿児島城西	鹿児島東急イン	クラブ協議会(地区大会報告)

鹿児島東南ロータリークラブ

会長 上原 勝 副会長 上田平 重樹 幹事 松元 保  
 (例会日、場所) 毎週火曜日、鹿児島市与次郎一丁目8-10  
 サンロイヤルホテル Tel 099-253-2020  
 (事務局) 〒890-0062 鹿児島市与次郎一丁目8-10  
 サンロイヤルホテル4F Tel 259-6855 Fax 259-1622

E-Mail [info@tounanrc.jp](mailto:info@tounanrc.jp) ホームページ <http://www.tounanrc.jp/>

第 2112 回 No.18  
平成 24 年 11 月 6 日 (火)

本日のプログラム  
ロータリー財団フォーラム  
野井倉洋豪委員長

11月 お誕生日おめでとうございます。  
柿元敬一君(15日)

11月 結婚記念日 おめでとうございます。  
別府 雅之君(11日) 上田平重樹君(15日)  
興津立夫君(17日) 内政季君(18日)  
笹平直夫君(27日)

第 2111 回例会報告

会長挨拶

上原勝会長

皆様こんにちは。本日の例会は第 2111 回例会です。本日のビジターを紹介します。西クラブ会長の染川さんと幹事の川畑さんです。後程お話を伺います。

私事で恐縮ですが、先週シンガポールに行きまして。目的は、建物の上に舟形のプールのある建築物の見学であります。マリーナベイサンズシンガポールホテルと云う名前のホテルでした。57 階で 3 つの建物が支柱になり、屋上がプールになっておりまして、とても地震のある日本では許されない構造体になっていました。

来月はロータリー財団月間です。野井倉 CLP リーダーに上期の報告を含め、卓話をお願いします。11 月 9、10、11 日と地区大会となっています。全員参加をお願いします。また、21 日は志學館大学模擬面接実施があります。20 日の例会の振り替えですので注意して下さい。

ビジター紹介

鹿児島西ロータリークラブ会長 染川周郎君  
鹿児島西ロータリークラブ幹事 川畑宏二君

会務報告

2012 年 11 月のロータリーレートは、1 ドル=80 円です。

出席報告

会員数	31 名	前々回出席者	15 名
出席免除会員	1 名	メイクアップ	13 名
出席会員	21 名	出席訂正率	93,33%
出席率	69%		

スマイル報告

染川周郎君・川畑宏二君(鹿児島西 RC) - 地区大会のご協力に対するお礼とお願いに伺いました。  
松元保君 - 前回欠席ですみません。





若松利秋君一職業奉仕月間で委員長卓話をさせていただきますが、仕事の話でなく奉仕の話で大変戸惑っております。

本日計 6,000 円 累計 324,000 円

## 職業奉仕フォーラム



若松利秋職業奉仕委委員長

ロータリーに在籍して、18年目で初めて職業奉仕委員長を仰せつかりました。まず地区の奉仕委員会の運営方針・基本方針・活動計画を熟読し、次に東南 RC の基本方針、活動方針を決めました。

地区活動方針に10月の職業奉仕委員会の委員長卓話を実施するよとのことでしたが、地区の基本方針に冒頭でいきなり、他の奉仕委員会と違い、非常に分かりづらいのが職業奉仕委員会という事で、どんな卓話が出るのか大変不安で本日を迎えました。

色々熟読の結果、9月の都城市で開催された地区職業奉仕委員会での奉仕プロジェクト委員長の卓話で一昨年の大震災、福島川内村の小学生28名、インターアクト4名、ローターアクト4名、先生1名の合計37名の原発でゴーストタウン化し、村がバラバラになった方々を福島キッズ in 鹿児島&宮崎にて、霧島 RC と指宿 RC が韓国岳登山、高千穂小との交流、指宿砂むし体験、シーヤック、魚見小との交流などで大変喜ばれたとの報告がありました。

以下、1989年にロータリアンの職業宣言を選択した8項目とウェブサイトから引用した RI 第 2640 地区の「職業奉仕とは何か」と、その中の3つの問題を要約したものをもとにお話ししたいと思います。

ロータリアンの職業宣言

1. 職業は奉仕の1つの機会であると考えること。
2. 職業の倫理的規範、国の法律、地域社会の道德基準に対し、名実ともに忠実であること。
3. 職業の品位を保ち、自ら選んだ職業において、最高度の倫理基準を推進するために全力を尽くすこと。
4. 雇主、従業員、同僚、同業者、顧客、公衆、その他事業又は専門職務上関係を持つすべての人々に

対し、公正であること。

5. 社会に役立つすべての仕事に対し、それに伴う名誉を認め、敬意を表すること。
6. 自己の職業上の才能を捧げて、青少年に機会を開き、他者の特別なニーズに応え、地域社会の生活の質を高めること。
7. 広告に際して、また自己の事業または専門職務について人々に伝える際には、正直を貫くこと。
8. 事業または専門職務上の関係において、普通には得られない便宜ないし、特典を、同僚ロータリアンに求めたり、与えたりしないこと。

「職業奉仕とは何か」～職業奉仕の危機～  
(3つの問題点)

私は、本年度の地区職業奉仕委員会の年度テーマを「職業奉仕とは何か」(職業奉仕の危機)とさせていただきます。何故このようなサブテーマにしたのか。それは、ロータリーの基礎的な理念である職業奉仕を全く理解していないロータリアンが増えてきたことにあります。単に社会奉仕さえすれば良い、お金や物で奉仕すれば良いという考えを持たれているロータリアンが多くなってきたことにあります。ボランティア活動をしたければ、それを専門に扱っている組織に入れば良いのであって、ロータリーに入った意義がありません。他の奉仕団体ない特徴が、ロータリーの職業奉仕ならば、それを理解しなければロータリアンとは言えないのではないのでしょうか。職業奉仕はロータリーの精神、哲学そのものであり、この教えに基づいて活動するのがロータリーであります。まず、職業奉仕を理解するには「ロータリー運動は倫理運動である」ということを理解しなければなりません。ロータリー運動が倫理運動であるがために古来より、いろいろな原理原則が生まれてきたようであり、その中でもこれがロータリーだと言われるのが「職業奉仕」であります。「ロータリーのロータリーたる所以は職業奉仕の実践にあり」と言われております。このように説明しますと職業奉仕は難しいものだという先入観が先に立ち、頭の中で拒否反応を示してしまいます。確かに難解な部分もありますが、私はできるだけ単純明快に説明したいと思っております。「ロータリー運動は倫理運動である」と言いましたが、まずは、この「倫理」から説明致します。「倫理」とは何か。それは「人が正しく歩む道」であります。人を泣かすような行為をして

はいけない、人を欺いてもいけない、非社会的、非道徳的行為をしてはいけない、世のため人のために尽くさない、というのが倫理の教えであります。現代社会において、この言葉を理解しない人が非常に多くおられます。ロータリーにおいて、この言葉が一番重要な言葉なのです。ロータリーの「職業奉仕は難解である」とよく言われますが、ではいったい「何処が難解であるのか」私はこの部分から説明致します。まずは「職業奉仕とは何か」を三つの問題点として整理いたしました。

### 第一の問題点

「職業奉仕と社会奉仕をどのように区別するのか」

ここで、非常に誤解を生む言葉を紹介いたします。それは、「自分の職業を通して、社会に奉仕をするのが職業奉仕である」と考えられている方が非常に多くおられます。自分の職業を通そうと通さずとも、社会に奉仕するのでありますから、この奉仕活動は社会奉仕であります。では、この言葉の中に職業奉仕が含まれないのかというとそうではありません。だから誤解を生む言葉なのです。では、どのように区別するのか。それは、「奉仕に対する受益者が誰であるのか」で区別することが出来ます。奉仕活動によって受益者が自分以外の地域の人々、地域社会である場合は社会奉仕であります。それと反対に奉仕活動で受益者が自分自身である場合が職業奉仕であります。

### 第二の問題点

「ロータリーの I serve とは何か」

まずは職業奉仕という言葉から説明させていただきます。「職業」とはお金を儲けるための手段であります。私たちが生活を営むための利益を得る手段であって、これは自分自身のためのものであります。「奉仕」とは世のため人のためのものであって、自分以外の人のためのものであります。このように全く正反対の力の言葉が一つになって「職業奉仕」という言葉になっているため非常に解りにくいのであります。この言葉は完全なるロータリー用語で辞書には載っておりません。そして「職業奉仕」という言葉は「職業」即ちお金を儲けることであり、「奉仕」即ち世のため人のために尽くすことであります。つまり、職業奉仕とは「職業を営むことが、世のため人のための奉仕となる」と言っております。ここが職業奉仕の一番難解な点であります。

### 第三の問題点

「例会出席と職業奉仕実践の問題」

ロータリー活動において、毎週一回の例会に出席し、食事をし、卓話を聞いて、寄付をして帰る。そのような無駄な時間を費やすより、ボランティア活動をするほうがはるかに世のため人のためになるのではないか、という考えを持たれる方が増えてきております。何故、ロータリアンは毎週一回の例会に出席しなければならないのでしょうか。それは、有益な職業人の中から選ばれた会員が、毎週一回の例会に集まり、お互いが先生となり生徒となって、集団で奉仕の心を学び、自己研鑽し、その心をそれぞれの家庭生活、職業社会、地域社会、国際社会で奉仕の心を実践するのであります。まず、ロータリアン自身の心を磨かなければ、倫理を学ばなければ、世の中に倫理を提唱することができないのであります。単なる寄付だけを目的とする団体であるならば、毎週例会を開く必要はなく、お金だけを出しておけばいいのであります。社会奉仕をしたければ、それを専門にしている星の数ほどある団体に入ればいいのであって、ロータリーに入った意義がありません。そして、例会においては、それぞれが平等であるという大原則があります。すべてのロータリアンが対等の地位に立って、お互いに学び合うのであります。これを「均一的平等の原則」と言います。毎週一回の例会に出席し、卓話を聞き、そして自らが卓話者として話し、異業種の良質な人たちとの接触を通じてロータリアン自らが心を磨き、そして今まで以上の知識と知恵を持ち、自分の職業社会で「世のため、人のためになる仕事」を目指すのが職業奉仕の実践であります。即ち、「職業奉仕の実践」は、毎週一回の例会出席から始まるのであります。米山梅吉氏は「例会は人生の道場である」と言っております。

\*\*\*\*\*

<ロータリーあれこれ>

ロータリー情報研修委員会  
興津立夫委員長

ロータリー奉仕の最新情報

つながり、協力、そして奉仕

2012年10月

職業奉仕プロジェクト：夢の職業を目指す高校生を応援  
卒業が近づくとつれ、高校生たちは、将来のキャリアに